

# 授業改善書

科目名	消費者行動論
担当者	柴田仁夫

## 授業の概要

消費者の行動を理解することはビジネスには欠かせない。何故ならそれが売上に直結し、事業の継続に繋がるからである。しかし現実にはこれをビジネスに活かし切れていないことが多い。ここ十数年消費者行動に関する研究は大きく変化してきているが、その変化はマーケティングとの関係で理解する必要がある。本授業では、消費者行動に関する基本的な理論モデルの理解を中心に、現実のビジネスや実生活の中でこれをどう活かしていくかを中心に、**中小企業支援センターの経営指導員としての企業支援経験に基づき、企業が実際に行っている消費者の行動分析手法について、実践的な講義を毎回行う。**

## 授業の問題点

本アンケート項目から見た授業の問題点としては、①授業外学習時間が少ない点、②質問や発言の少なさがあげられる。

## 学生の授業満足度

授業の満足としては、学生にとって得られるものがあったという評価が「4.77」であるので一定の満足度を提供できたと考えられるが、授業を振り返った際の満足表化が「4.38」とやや低いため、更なる講義の質の向上を図りたい。

## 授業改善の課題と方策

今年度は学生への問いかけが例年に比べて少なかったかもしれない。次年度以降は頼意識して学生に問いかけ、発言を促すように心掛けたい。

## その他